

在宅医療・介護は十分か

看護の支援体制は整った



矢野 昭三 議員

護用品や在宅介護手当を支給。在宅医療は訪問看護の支援を受けながら医療・介護の提供を受ける事ができる体制が整っている。

問 高齢者2人や高齢独居の生活者に対する在宅医療は、介護の方向に進んでいるが、当町の取り組みは十分か。

答 川村 健康福祉課長
在宅介護を支える取り組みとして、あったかふれあいセンターや民生委員・区長・地域の皆さまの見守り活動に取り組んでいる。支えきれなくなった時は在宅介護サービスまた支援4、5になっても条例の規定に該当すれば介

交通安全

対策と計画は

来年度中には作成したい

問 住民の命を守るため交通安全対策計画を作成しているか。

答 また、通学路等交通弱者の安全対策は十分か。県道等から国道へ乗り入れの安全対策に立竹林等を改修するよう関係機関へ要望しているか。

答 徳廣 情報防災課長
交通安全計画は来年度中には作成したい。

保育所、小学校は交通安全教室、教育委員会、PTA、地域の方々の協力を頂き、危険箇所へ反射鏡、啓発看板、路面標示等を設置している。
視距改良は、今後において支障をきたす可能性のある箇所は影響が大きくなる前に所管する機関に要望する。



県道秋丸佐賀線から国道56号へ合流点が危険

産業振興

総合戦略の現評価は

各事業に成果見られる

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略の現評価と漁業生産計画の実績は。

答 西村 企画調整室長
2060年に人口6800人を目指している。平成30年度末の人口は1万1217人、減少率約1%へと縮小。転入超過は21人になった。

答 今西 海洋森林課長
カツオ関係の漁業では平成27年496トンから平成30年243トンに水揚げが減少したが、沿岸漁業では平成27年899トンから平成30年1061トンとなり水揚げ目標を上回った。
この要因は伊田、灘地区の定置網の復活、鈴地区の定置網の沖だしが功を奏したのではないか。

地域整備

予算の増額は

協議検討する



う回路が無い。1日も早い復旧を（町道拳の川・若山線）

問 う回路のない集落は道路へ崩落や立竹木が茂ると病人を初め生活が大

答 宮川 総務課長
数多くの要望箇所が未着手、次年度以降の予算の増額等地域の維持や活性化のため本格的に検討する。

変困る。地域整備の予算を増額するか。